



## データボード⑪

- ① 富山県小矢部市殖生
- ② 延長3,350m, 幅員5m
- ③ 八重桜並木, 「火牛の計」の像
- ④ 俱利伽羅源平供養塔追悼法要, 野だて

富山県と石川県の県境に位置する俱利伽羅峠は、源平の合戦の中でも有名な俱利伽羅谷の戦いが行われた場所である。現在では、木曾義仲の源氏方に囲まれた平家の軍勢が落ち込み谷底を埋めたという深い谷の上を、源平ラインと呼ばれる道路（旧北陸街道）が通り、峠は雄大な眺望に恵まれている。

この源平ラインを市民のいこいの場とするため、沿道に六千本に及ぶ八重桜が植えられている。またブナの林の整備、木曾義仲が合戦で使った「火牛の計」の像を設置するなどの環境整備が進められており、春には花見、秋には紅葉で彩られる美しい行楽地となっている。